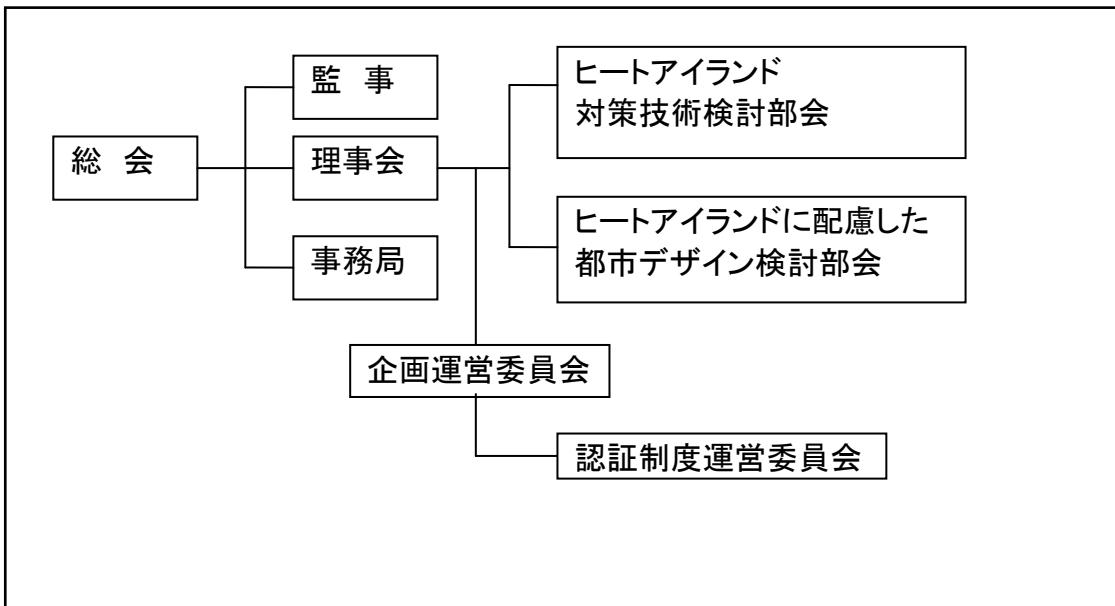


平成27年度事業報告

1. 組織



2. 役員構成(平成28年4月1日時点)

理 事 長	水野 稔	(大阪大学 名誉教授)
副理事長	野邑 奉弘	(大阪市立大学 名誉教授)
理 事	森山 正和 池上 俊郎 河上 豊 鷺尾 修司	(摂南大学 特任教授) (関西学院大学 教授) (関西電力株式会社 環境室長) (大阪ガス株式会社 CSR・環境部長)
監 事	小野 英利 野原 賢一郎	(大阪府環境農林水産部 エネルギー政策課長) (大阪市環境局 環境施策部長)

3. 活動実績

(1)理事会・総会の開催

理事会・総会(平成27年6月12日)を開催し、平成26年度事業報告、同収支決算、平成27年度事業計画、同収支予算、会則の改正、理事の選任について議論し、承認を得た。

(2)企画運営委員会の開催

第1回企画運営委員会(平成27年5月7日)は、平成27年度事業計画、理事会・総会に係る議案書について、第2回(同年11月9日)は行動計画について、第3回(平成28年3月30日)は検討部会の進捗状況、行動計画について議論した。

(3)啓発セミナー等の開催

ヒートアイランド対策技術に関するセミナーを開催した。

○ヒートアイランド対策技術セミナー(平成27年6月12日)

「都市表面における日射吸收抑制策」

[木下 進一(大阪府立大学大学院 準教授)]

「持続可能社会に向けた大阪のグリーン・インフラ」

[増田 昇(大阪府立大学大学院 教授)]

<参加者> 18名

○ヒートアイランド対策技術の最新動向(平成28年1月26日)

「外断熱工法の最新技術と動向」

[芝池 英樹(京都工芸繊維大学 准教授)]

「蒸発冷却を用いたヒートアイランド対策技術」

[西岡 真稔(大阪市立大学 教授)]

<参加者> 29名

(4)検討部会(ワーキンググループ)の開催

素材関連、熱有効活用・人工排熱低減、クールスポット創造技術手法、熱負荷評価手法、都市デザインの各ワーキンググループを開催し、ヒートアイランド対策技術の評価・普及等について検討した。

【素材関連ワーキンググループ】

保水性舗装ブロック及び外断熱について、認証基準(案)を検討し、認証制度運営委員会に諮った。また、高反射材料の汚染促進試験方法と再帰反射性材料について、それぞれのサブWGにおいて報告及び意見交換を行った。

■第32回会合:平成27年5月8日

<内容>

- (1)平成27年度事業計画(案)について
- (2)認証制度運営委員会の報告
- (3)認証制度への反映(外断熱仕様)
- (4)認証制度への反映(保水性舗装ブロック)
- (5)再帰性反射材料SWGの報告
- (6)汚染促進試験SWGの報告
- (7)その他

■第33回会合:平成28年2月9日

<内容>

- (1)平成28年度の事業計画(案)について
- (2)高反射材料の汚染促進試験方法SWGの報告
- (3)再帰性反射材料SWGの報告
- (4)その他

《高反射率材料の汚染促進試験方法SWG》

○第3回会合 平成27年4月24日

○第4回会合 " 7月10日

《再帰反射性材料SWG》

○第5回会合 平成27年4月17日

○第6回会合 " 6月30日

○第7回会合 " 9月15日

○第8回会合 " 10月29日

○第9回会合 " 12月11日

○第10回会合 平成28年1月22日

○第11回会合 " 3月 4日

【熱有効活用・人工排熱低減ワーキンググループ】

人工排熱削減対策における大気熱負荷削減効果の推奨制度策定に向けた議論を行った。また、熱有効活用・人工排熱低減に関する情報収集・調査、検討、及び広報を行った。

■第33回会合：平成27年5月19日

＜内容＞

- (1) 26年度活動報告
- (2) 平成27年度第1回企画運営委員会報告
 - ・各WGの年度事業計画(案)
 - ・認証制度と推奨制度についての依頼事項
- (3) 「熱有効活用・人工排熱低減WG」における、空冷空調機用排熱低減対策装置による人工排熱削減効果の推奨制度策定に向けた議論
 - ・推奨制度の申請・認定手順について
 - ・推奨制度における評価項目について
 - ・推奨制度確立に向けた今夏のフィールド測定について
- (4) 27年度事業計画について
- (5) その他
 - ・アンケート結果
 - ・総会および公開技術セミナー開催(6月12日)について
 - ・夏の暑さ対策展2015への出展について

■第34回会合：平成27年7月17日

＜内容＞

- (1) 「熱有効活用・人工排熱低減WG」における、空冷空調機用排熱低減対策装置による人工排熱削減効果の推奨制度策定に向けた議論
 - ・試験方法ならびに適合性評価の手順書について
 - ・推奨制度確立に向けた今夏のフィールド測定について
- (2) その他
 - ・「大阪府涼しい道(クールロード)100選」の募集について

■第35回会合：平成28年3月11日

＜内容＞

- (1) 「熱有効活用・人工排熱低減WG」における、空冷空調機用排熱低減対策装置による人工排熱削減効果の推奨制度策定に向けた議論
 - ・人工排熱低減技術に関する情報提供(関西電力株)
 - ・水噴霧装置を用いた人工排熱低減について(大阪市立大学)
 - ・冷媒流量予測に基づく空調機性能と人工排熱の簡易評価法の提案
 - ・今後の検討方針について
- (2) 次回企画運営委員会提出資料について
- (3) その他
 - ・ヒートアイランド対策技術認証制度の進捗
 - ・議事録の公開について

【クールスポット創造技術手法ワーキンググループ】

クールスポット創造技術手法WGでは、緑化、水活用(噴霧・散水)等技術手法の検討を行った。

■第18回会合:平成28年3月11日

<内容>

- (1)新規入会員の技術情報紹介(東洋紡STC株式会社)
- (2)報告・検討事項について
 - ・簡易蒸発散評価装置の精度検証について
 - ・今後の活動・アンケート調査について
 - ・次回企画運営委員会提出資料について
- (3)その他
 - ・ヒートアイランド対策技術認証制度の進捗について
 - ・議事録の公開について

【熱負荷評価手法ワーキンググループ】

認証制度の追加対象技術について、大気熱負荷削減量・表面温度低下を評価するシミュレーションモデルの開発を行った。

<内容>

- (1)ヒートアイランド対策技術認証制度で新たに対象となる技術(保水性舗装ブロック、外断熱仕様(屋根面・外壁面))について、標準的な条件での大気熱負荷削減量及び温度低下量等を求めるシミュレーションプログラムを作成した。
- (2)大気熱負荷計算プログラムの内容が分かる詳細マニュアルを作成した。

【都市デザインワーキンググループ】

地域における「あるべき都市デザイン」の検討・提言に向けて、府民が感じるクールラインの実態把握の検討を行うとともに、平成24年度の大坂府クールスポット100選に続き、大阪府クールロード100選の選定を行った。

■第20回会合:平成27年5月29日

<内容> 府民が感じるクールラインの実態把握について

■第21回会合:平成27年6月17日

<内容> 大阪府クールロード100選”大阪府・大阪市報道提供(案) について

■第22回会合:平成27年8月5日

<内容> 「大阪府涼しい道(クールロード)100選」選定について

■第23回会合:平成27年9月10日

<内容> 「大阪府涼しい道(クールロード)100選」選定について

■第24回会合:平成28年3月11日

<内容> 今後の方針について

(5)認証制度運営委員会

認証制度運営委員会にて、「ヒートアイランド対策技術認証制度」への対象技術追加を行った。

■第12回会合：平成27年11月9日

<内容>

- (1)「ヒートアイランド対策技術認証制度」への対象技術の追加
- (2)認証制度に追加される対象技術の周知計画

(6)部会活動等の周知(大阪 HITEC NEWS の発行)

ニュースレター『大阪 HITEC NEWS Vol. 11』を平成27年9月に発行し、大阪府涼しい道(クールロード100選)や「夏の暑さ対策展2015」への出展状況などについて紹介した。また、平成28年3月に『Vol. 12』を発行し、「ヒートアイランド対策技術認証制度」への対象技術の追加や認証制度の申請手数料の改定について紹介した。

(7)ホームページのリニューアル等

ホームページをデザイン面・機能面から、見やすく、わかりやすくリニューアルするとともに、ホームページに会員様向けウェブサイトを開設。WG 議事録を公開した。